

(発行)

石川県高次脳機能障害相談・支援センター

石川県金沢市赤土町ニ13-1

石川県リハビリテーションセンター内

電話 076-266-2188

# 石川県 高次脳機能障害相談・支援センターニュース

## はじめに

高次脳機能障害は、若い世代での発症も多く、これから就労を目指していく学生の方や元々就労していた方にとっては、就職または復職といった就労に関することは社会復帰の大きなテーマとなります。そのステップの中で、それぞれの目標や障害状況に応じた福祉制度や支援施設等の社会資源を活用されていくことが必要となりますが、当センターとしてもそれらの社会資源情報を把握し提供していくことも今後の課題の一つと感じています。

また、最近の支援の傾向としては、ソーシャルワーカーや介護支援専門員との連携はもちろんですが、相談支援専門員と連携させていただくケースも増えてきており、今後もその必要性は高まるものと考えられます。高次脳機能障害のある方々が地域で生活されていく中で、当事者に関わる周囲からの理解や協力が必要となり、実際に当センターにご相談いただく方の職種も多岐にわたっていますが、今後も関係機関の方々と連携させていただきながら支援を進めていきたいと考えていますので、今後とも当センターの事業に御理解と御協力をお願いいたします。



## 平成24年度事業報告

### ①専門職研修

8月4日(土)に高次脳機能障害専門職研修を開催いたしました。講師に国際医療福祉大学作業療法学科の鈴木孝治先生にお越しいただき、「高次脳機能障害の評価と介入方法」についてご講義いただきました。各症状への対応方法について具体例を交えながらわかりやすくお話いただくことができました。

参加者は主に医療機関の作業療法士の方が多く、終了後のアンケートでは「高次脳機能障害者へのアプローチの中で困難に感じたことがある」と回答された方が約8割あり、特に「病識のない方への対応」「評価方法」「家族への説明」について苦慮されているとの声が多くありました。

また、参加者から「退院後に回復がみられる患者もいるが、地域で回復していく中でどのような取り組みや連携が必要か」という質問があり、当センターから「高次脳機能障害のある方への支援は途切れないことが必要であり、なかには継続的な機能評価等が必要な場合があるので、退院後も医療機関と連携して支援していきたい」旨お話をさせていただきました。



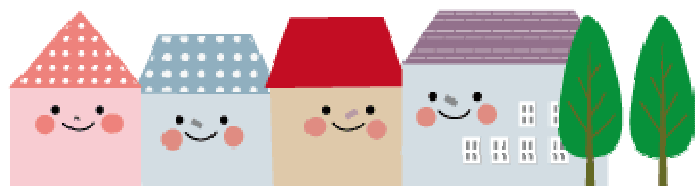
## ②家族教室

平成24年度は下記のプログラムのとおり3回の家族教室を実施しました。1回目は自動車事故対策機構（NASVA）と共催で行い、交通事故の後遺症の方を対象にさせていただきました。講義の中でNASVAから介護料の支給等についてもご紹介いただき、経済的支援の一つとして貴重な情報をお聞きすることができました。

また、今年度は能登地区の方も参加しやすいようにと、県内2会場（能登・金沢）に分かれて開催いたしました。特に能登会場では、ご家族だけでなく高次脳機能障害であるご本人や、支援に携わっておられる方からもご参加いただき、交流会の中ではご本人が感じている葛藤や周囲に理解してほしいことを、参加されたご家族や支援者に伝える機会にもなりました。支援者からも、普段の支援の中で大変だと感じられていること等についてお話がありました。

全ての会で、ご家族からこれまで経験された苦労や不安等について話題が挙がり、参加者同士が共感し合っていたと感じました。「他の人達がどのように療養生活を送っておられるか聞きたくて参加した」という声も多く聞かれ、このような交流の場が今後も必要であると思われま

日時	会場	内容	講師
平成24年 11月18日(日) 13時30分～16時	石川県リハビリテーションセンター	◇講義 「NASVA介護料について」 「相談・支援の窓口」 「高次脳機能障害の理解と対応について」  ◇交流会	・自動車事故対策機構NASVA職員  ・石川県リハビリテーションセンター 作業療法士、保健師
平成24年 12月7日(金) 13～15時	生涯学習センター 能登分室 多目的室(能登空港)	◇講義 「高次脳機能障害の理解と対応について」 「使える社会資源について」  ◇交流会	・石川県リハビリテーションセンター作業療法士 ・公立能登総合病院 医療ソーシャルワーカー 谷内 満希子 氏
平成24年 12月18日(火) 13時30分～15時30分	石川県リハビリテーションセンター	◇講義 「高次脳機能障害の理解と対応について」 「使える社会資源について」  ◇交流会	・石川県リハビリテーションセンター作業療法士 ・金沢脳神経外科病院 医療ソーシャルワーカー 永田 若菜 氏



### ③生活支援教室

毎週水曜日の午前10時から午後3時に、リハビリテーションセンター隣の「ほっとあんしんの家」で生活支援教室を開催しています。参加者は40代から50代の男性が多いですが、今年度は新しい参加者が増えた一方で教室を卒業された方もいらっしゃいます。卒業後の進路としては、元の職場に復職された方や就労支援事業所の利用につながった方もいますが、生活支援教室では必ずしも就労を目標としているわけではなく、中には福祉サービスを利用しながら在宅で安定した生活を過ごすことができるようになったために卒業を迎えられたかた方もおられます。それぞれの目標に向かって進んでいけるような支援ができればと考えております。

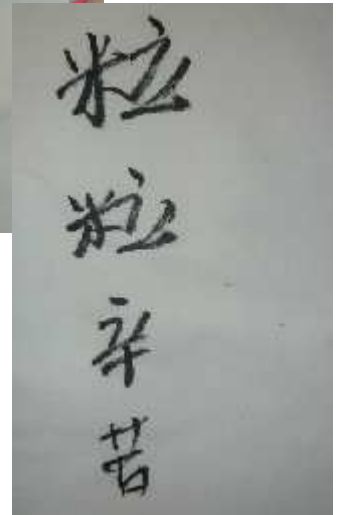
今年度は、外出訓練としてボーリングや映画鑑賞に出かけたり、習字やネット手芸等の創作活動を行ったほか、教室卒業者から体験談をお聞きする学習会も開きました。教室を卒業後、復職された経験や「自分が明るくなれば家族も明るくなるので、明るく元気に頑張っていきたい」というお話をお聞きし、参加者からは「人それぞれ状況や生活環境は違うが、頑張っている姿に感動した」との感想も聞かれました。

久しぶりの  
ボーリングは  
難しい！



ボーリング

習字



#### 参加者・卒業者の声♪

- ・「スピーチで話したり、他のメンバーの話を聞くのが楽しい」（参加者）
- ・「家では自分にできることがあまりなく気分が落ち込むこともあるが、ここに来ると皆と話せて『頑張ろう』と心強くなれる」（参加者）
- ・「生活支援教室で自分の気持ちを語ることで前向きになることができた」（卒業者）



## 高次脳機能障害患者と家族の会 つばさ からのお知らせ

毎月第3日曜日に石川県リハビリテーションセンター隣の「ほっとあんしんの家」をお借りして家族会定例会を開催しています。その月によって参加のメンバーは変わりますが、当事者・家族が体験を語りながら様々な情報を提供したりしています。笑いあり、涙ありで時には愚痴大会になることもあります。それはそれで体験したもの同士、悩みを共有でき、後はすっきりします。

この障害で悩んでいる方がおられましたら、一度ご参加ください。同じ悩みを持つ仲間がいます！お待ちしております！

### 〈今後の予定〉

4月21日（日）午後2時～・・・家族会定例会（ほっとあんしんの家にて）



### 〈料理教室を開催しました〉

平成25年1月20日（日）金沢市勤労者プラザにおいて、料理教室をおこないました！講師は「金沢市食生活改善委員」の浅田さんと出島さんをお願いし、加賀野菜を使った郷土料理を教えてくださいました。皆さんとってもいい笑顔です！



### 〈連絡先〉

TEL 076-261-2324 向江まで  
mail tsubasa@m2.spacelan.ne.jp

## 石川県高次脳機能障害相談・支援センターの案内

石川県高次脳機能障害相談・支援センターでは、「相談は傾聴、親身、親切に」をモットーに、高次脳機能障害に関する相談を随時受け付けております。

何かお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

〒920-0353 石川県金沢市赤土町ニ13-1  
石川県リハビリテーションセンター内  
（石川県済生会金沢病院となり）  
電話 076-266-2188 ファックス 076-266-2864  
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/koujinou/>

電話相談：月～金曜日 8時30分～17時15分  
土曜日 8時30分～12時30分  
面接相談：月～金曜日 8時30分～17時15分  
（予約制）

（相談担当） 琴坂 豊島 小池田

